

令和4年度あま市地域包括支援センター事業経過

I あま市地域包括支援センター(直営)事業経過

1 指定介護予防支援事業

本事業は平成30年4月よりあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(以下「社協包括」という。)に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

2 介護予防ケアマネジメント事業

本事業は平成30年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

3 包括的継続的ケアマネジメント事業

本事業は平成30年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

4 総合相談支援事業

(1) 相談業務

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援する。あま市地域包括支援センター(以下「直営包括」という。)と社協包括が連携・協力して実施している。

本業務と同一の業務を平成30年4月より社協包括に委託している。社協包括の詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

あま市地域包括支援センター(直営)実績

年度	電話	来所	訪問	その他	合計
令和2年度	835件	189件	204件	144件	1,372件

※令和3年度よりその他の項目を細分化した。

年度	電話	来所	訪問	報告	調整	その他	合計
令和3年度	870件	181件	290件	352件	86件	34件	1,813件
令和4年度	1064件	170件	323件	312件	119件	36件	2,024件

令和5年2月末現在

◎新規相談者(実件数:365件)内訳

令和5年2月末現在

相談者		件数	構成割合
1	本人	93件	25.5%
2	家族・親族	74件	20.3%
3	社会福祉協議会等	41件	11.2%
4	民生委員・児童委員	34件	9.3%
5	行政機関	26件	7.1%
6	警察	13件	3.6%
7	見守り協定の事業所	11件	3.0%
8	医療機関	8件	2.2%
9	関係委員	7件	1.9%
10	知人・友人	5件	1.4%
11	ケアマネジャー	3件	0.8%
12	介護保険事業所	2件	0.5%
13	その他	48件	13.2%
合計		365件	100.0%

◎新規相談対応状況内訳（複数回答）

令和5年2月末現在

	相談内容	件数	構成割合
1	状況確認	197 件	37.0 %
2	認知症支援	118 件	22.2 %
3	介護関連説明・紹介	100 件	18.8 %
4	行政サービス・制度の活用	20 件	3.8 %
5	医療関係説明・紹介	16 件	3.0 %
6	独居生活支援	11 件	2.1 %
7	苦情	8 件	1.5 %
8	支援困難	3 件	0.6 %
9	地域資源の活用	1 件	0.2 %
10	権利擁護・成年後見	0 件	0.0 %
11	その他	58 件	10.9 %
	合計	532 件	100.0 %

(2) ひとり暮らし高齢者等の実態把握（高齢者台帳調査）

- 訪問対象者：65歳以上のひとり暮らしの方及び65歳以上のみの世帯の方
- 民生委員・児童委員による戸別訪問等を実施
- 実態把握にて収集した情報については、システムにてデータ登録し保管（緊急時における関係機関への情報提供の同意を得ている）

実態把握対象者（前年度3月1日時点で対象者を抽出）

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		人数等 R2. 3. 1現在	人数等 R3. 3. 1現在	人数等 R4. 3. 1現在
あま市総人口		89,146 人	89,108 人	88,809 人
高齢者	65歳以上	23,192 人	23,176 人	23,114 人
	75歳以上	11,895 人	12,129 人	12,563 人
高齢化率		26.0 %	26.0 %	26.0 %
訪問対象登録者		10,337 人	10,968 人	10,968 人
ひとり暮らし高齢者		2,877 人	3,128 人	3,128 人

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、民生委員・児童委員には、ご自身の健康にも配慮していただき、無理のない範囲でご協力いただいた。
- 民生委員・児童委員の訪問後、不明不在者に対して、市包括職員が電話等にて状況確認を行った。それでも連絡がとれない162名に対して通知を送り、86名から連絡があった。継続の方には電話にて、登録状況に変更や追加がないか確認をし、未登録の方は、市包括職員が窓口対応または自宅訪問にて、登録の説明を行った。
- 高齢福祉課で作成している安心カード（緊急連絡先やかかりつけ医、必要な対応方法などを記入し財布等に入れて持ち歩けるようにしたもの）を高齢者状況調査時に配布していただくよう、民生委員・児童委員にご協力いただいた。

5 権利擁護事業

(1) 高齢者虐待への対応

令和5年2月末現在

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談・通報	22 件	31 件	35 件
虐待として判断	6 件	1 件	7 件
虐待者からの分離 (相談・通報時点で既に分離状態の事例も含む)	4 件	1 件	3 件

(2) 成年後見制度の活用

令和5年2月末現在

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本人申立ての支援	0 件	0 件	件
親族申立ての支援	0 件	0 件	件
市長申立て	0 件	1 件	2 件

※ 本人申立て及び親族申立ての支援は、中核機関である権利擁護センターが実施主体となっている。

(3) 成年後見制度利用支援事業の実績

成年後見制度利用支援事業とは要支援者等の財産状況から「審判請求費用」や「後見人等報酬費用」を負担することが困難な場合、これらの費用を助成することで、要支援者の権利を擁護し、安定した日常生活の実現を図ることを目的としている。

令和5年2月末現在

助成区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
審判請求費用		0件	0件	0件
後見人等報酬費用	新規	0件	3件	0件
	継続	0件	0件	3件

6 地域包括ケアシステム推進事業

高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した暮らしを続けることができるように「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」が一体的に提供される仕組みを推進する。

(1) 多職種連携を目的としたあま市地域ケア会議

医療関係者、介護職関係者、民生委員・児童委員及び老人クラブ代表者といった地域の支援者等による、多職種間の連携を深めることを目的とした会議を実施した。

日 程	内 容	場 所
6月20日	事例検討 「夫婦とも認知症が疑われる二人暮らし世帯の支援について」	甚目寺総合福祉会館

<参加者内訳>

職 種 等	人 数
民生委員・児童委員	6 人
老人クラブ	5 人
居宅介護支援事業所	19 人
通所介護事業所	2 人
訪問介護事業所	8 人
シルバー人材センター	0 人
社会福祉協議会	1 人
生活支援コーディネーター	2 人
認知症地域支援推進員	2 人
地域包括支援センター	2 人
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター	1 人
行政	1 人
合 計	49 人

日 程	内 容	場 所
10月20日	事例検討 「コロナ罹患後にADL低下した80代女性と、コロナ罹患後に体調が回復しない息子との二人暮らしの支援について」	甚目寺庁舎 大会議室

<参加者内訳>

職 種 等	人 数
医師	4 人
歯科医師	4 人
歯科衛生士	1 人
あま市議会議員	1 人
薬剤師	7 人
病院相談員	2 人
民生委員・児童委員	7 人
老人クラブ	6 人
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター	1 人
居宅介護支援事業所	17 人
訪問介護事業所	0 人
訪問看護事業所	2 人
シルバー人材センター	2 人
社会福祉協議会	2 人
生活支援コーディネーター	0 人
認知症地域支援推進員	2 人
地域包括支援センター	3 人
行政	2 人
合 計	63 人

(2) 地域包括ケアシステム講演会

高齢者の誰もが健やかに住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域包括ケアシステムの深化推進に取り組む中で、今年度も依然として新型コロナウイルス感染症の流行により、地域活動の自粛・縮小を余儀なくされ、コミュニティ活動の停滞が続いていることから、安心して地域活動をするための知識やノウハウを得ていただくための講演会を実施した。

日程	内容	場所	参加人数
11月11日	【講演テーマ】 コロナ禍において安心して地域活動するために知っておきたい感染症対策 【講師】 愛知県立大学 看護学部 清水 宣明教授	美和文化会館 大ホール	169 人

7 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供できるよう体制の構築を推進する。

(1) ICTを活用した医療・介護（多職種連携）

あま市では、ICTを活用した医療・介護連携を推進するため、名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センターが開発した「電子@連絡帳」【つながるまい”あま”】を導入し在宅医療・介護連携の体制を構築している。

〈運用後の事業所登録実績〉

令和5年2月末現在

事業所種別		件数
1	居宅介護支援	23 件
2	クリニック	15 件
3	薬局	10 件
4	通所介護	10 件
5	歯科	9 件
6	訪問看護	8 件
7	訪問介護	7 件
8	福祉用具	5 件
9	病院	3 件
10	グループホーム	3 件
11	地域包括支援センター	2 件
12	通所リハビリテーション	1 件
13	老人保健施設	1 件
14	小規模多機能型居宅介護	1 件
15	その他	1 件
合 計		99 件

(2) 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ） ※R4.4～R5.3（見込含）

「多職種が連携して支える安心な広域のまちづくり～地域の人々がいつまでも健やかに心豊かに暮らせるために～」を基本理念として、平成30年4月に海部医師会及び津島市医師会の協力のもと、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村の7市町村により共同設置されています。

●実績

(ア) 相談件数(令和4年4月～令和5年2月)

相談種別	件数
地域医療関連	57
訪問診療調整	30
訪問歯科診療調整	30
薬局関連	0
訪問看護情報	6
褥瘡サポート関連	0
介護保険サービス	3
ICT	2
研修等	0
その他	5
合計	133

(イ) 会議・ワーキンググループ活動

会議・ワーキンググループ名	開催回数
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター運営委員会	2回
海部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会	4回
海部医療圏在宅医療・介護連携推進事業担当課長会議	2回
地域の医療介護連携ワーキンググループ	4回
医療・介護関係者の研修ワーキンググループ	3回
在宅医療提供体制ワーキンググループ(海部医師会)	4回
津島市在宅医療実務者協議会(津島市医師会)	4回
海部医療圏居宅介護支援事業者連絡会	4回
地域住民への普及啓発ワーキンググループ	2回

(ウ) 講演会・研修会

講演会・研修会名	開催日	場所	参加人数
地域包括ケア多職種合同研修(共催:看護協会、MSW協会) テーマ:ACP実践研修 SDM9の技術強化	8月6日	オンライン(Zoom)	43名
地域住民普及啓発講演会(共催:看護協会) 講演:ACPを知っていますか?～自分らしい生き方を選択しましょう～	10月16日	弥富市総合社会教育センター	107名
在宅医療・介護関係者研修会 テーマ:コロナ時代の多職種連携によるフレイル予防	11月12日	オンライン(Zoom)	50名
緩和ケア多職種連携研修会(共催:海南病院・津島市民病院) 講義:『緩和ケア領域の「せん妄」』・事例検討	3月9日	オンライン(Zoom)	45名

(エ) 地域住民への普及啓発活動・出張教室等

活動	内容	実施日	場所	参加人数
出張教室 (講師)	ACPについて	5月11日	弥富市十四山スポーツセンター	51名
	在宅医療・介護連携支援事業について	7月14日	津島市役所神守支所	3名
	地域包括ケア・地域医療における 在宅医療・介護連携について	7月15日	津島市立看護専門学校	29名
	いきいき健康百歳塾～いつまでも幸せに、 健やかに過ごす健康長寿の鍵～	10月20日	富吉コミュニティ会館	18名
	お医者さんとの上手な付き合い方	3月7日	蟹江町中央公民館 分館	45名
普及啓発	あいさいさん祭り(愛西市)	10月30日	愛西市役所	39名
	泉人まつり2022(蟹江町)	10月30日	多世代交流施設 泉人	75名
	健康福祉祭(飛島村)	11月5日	すこやかセンター	22名

(オ) 市町村関係会議

主催	会議名	参加回数
津島市	地域包括ケアシステム推進協議会	4回
	認知症施策推進協議会	4回
	「あんしんネットつしま」会議	3回
	あんしんネットミーティング	2回
	「つながるまい津島」ICTワーキング	4回
愛西市	地域包括支援センター連絡調整会議	4回
	歯科地域医療懇談会	1回
	地域ケア会議	1回
弥富市	地域ケア会議	10回
あま市	居宅介護支援事業所交流会	1回
	地域ケア会議	2回
	サービス事業者連絡会	2回
大治町	地域ケア会議	9回
蟹江町	地域包括支援センター事業打合せ	10回
	地域ケア会議	3回
	オレンジチームチーム員会議	4回
飛島村	包括ケア会議	10回
津島市民病院	地域医療連携委員会	12回
	地域包括緩和ケア推進委員会	12回
その他	海部医療圏訪問看護ステーション連絡協議会	6回
	海部医療圏市町村在宅医療連絡協議会	3回
	名古屋西部・海部東部地域包括ケア 推進協議会(尾陽包括ケアの会)	1回
	海部医療圏栄養士連絡協議会(みんなの楽食)	4回
	海部地域医療サポーターの会	6回
	海部南部権利擁護センター事例検討会	10回

8 生活支援体制整備事業

地域全体で高齢者の生活を支える体制整備を行うため、ボランティア等を担い手とした生活支援サービスの開発、サービス提供主体間のネットワークの構築等を行う。

(1) 生活支援体制整備推進に係る助言者派遣事業

今年度は協議体の関係者以外にも、一般住民を対象として、生活支援講演会と活動団体の発表を同時に行った。第1部として、講師による事業の意義や社会性の維持の重要性についての講演を実施。第2部では、住民同士の支えあい・助け合い活動を行っている団体が、それぞれの活動を発表することで、生活支援の周知及び活動立ち上げのきっかけを図った。

日程	内容	場所	参加人数
12月14日	<p>見つけよう！あま市の支えあい ～地域のお宝発表会～</p> <p>第1部 【基調講演】 むすぶ手・つなぐ手 ～あなたは、どんな地域（まち）に暮ら したいですか？～ 【講師】 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏</p> <p>第2部 【お宝発表会】 （美和）グランドゴルフの仲間 （下田）畑作りのつながり （上萱津）子どもは地域の宝 （伊福）男性の集まり</p>	美和文化会館 多目的ホールABC	78人

(2) 協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け、多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場。

第1層協議体（あま市全域）

回数	日程	内容	場所
第1回	5月23日	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備事業について 第2層協議体及び生活支援コーディネーターの活動報告について 今後の活動予定について 	あま市甚目寺総合福祉会館 3階 つどいの部屋
第2回	2月22日	<ul style="list-style-type: none"> 第2層協議体及び生活支援コーディネーターの活動報告について 第2層協議体出席者とグループワーク形式での情報交換会 	あま市七宝産業会館 2階 大会議室

※第2回については、第1層及び第2層協議体合同交流会として実施した。

構成団体等

- あま市民生委員児童委員協議会
- あま市老人クラブ連合会
- 元ボランティア連絡協議会
- 女性の会
- あま市赤十字奉仕団
- あま市市民活動センター
- あま市社会福祉協議会
- あま市シルバー人材センター
- あま市社会福祉協議会生活支援コーディネーター

第2層協議体（七宝地区・美和地区・甚目寺地区）

本業務は平成31年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

また、直営包括職員と直営包括に在籍する認知症地域支援推進員は、関係機関として各協議体に毎回参加した。

9 認知症施策の推進

(1) 認知症初期集中支援推進事業

認知症になってもできる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に複数の専門職で構成されたチーム員が早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行い、自立した生活をサポートする。

平成27年10月より医療法人 宝会 七宝病院に事業を委託している。

<支援対象者>

原則として40歳以上で在宅で生活しており、かつ、認知症が疑われる人または認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人

- ① 医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人
 - ・ 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - ・ 継続的な医療サービスを受けていない人
 - ・ 適切な介護サービスに結び付いていない人
 - ・ 介護サービスが中断している人
- ② 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人

<チーム員>

認知症サポート医1名、社会福祉士1名、保健師1名、精神保健福祉士1名、公認心理師1名
事業の委託先の医療法人 宝会 七宝病院に設置

<活動実績>

令和5年2月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回訪問件数	0件	1件	2件	2件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件		7件
チーム員会議での 検討ケース (モニタ報告含む)	3件	-	2件	3件	-	7件	2件	1件	1件	-	1件		20件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議を中止とした月あり。その月に検討できなかったケースは翌月の会議で検討。

※初回訪問の内訳

・性別、年齢状況

年齢	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
男性	0人	0人	0人	0人	1人	1人	2人
女性	0人	0人	0人	1人	3人	1人	5人

・世帯状況

独居	夫婦のみ	その他	合計
1人	2人	4人	7人

・把握経緯

本人	家族	包括	推進員	ケアマネ	医療機関	その他	合計
0人	1人	5人	1人	0人	0人	0人	7人

・支援状況

支援対象者		人数	詳細
専門医に つながった人	認知症の診断がついた人	5人	アルツハイマー型、血管性
	認知症以外の診断がついた人	1人	発達障害
介護サービスにつながった人		6人	通所介護など

※訪問支援対象者には、地域資源のいきいきサロンやふれあいカフェなどの情報を提供し、参加につなげている。

(2) 認知症地域支援推進員の活動

地域の医療や介護の関係機関、支援機関などとの連携や認知症の人及びその家族を支援する体制づくりを担っている。

●認知症地域支援推進員 在籍数・・・直営包括に7名（直営包括業務と兼任）

●活動実績

- ・窓口や電話等で認知症に関する相談を受け、必要に応じて初期集中支援チームにつなげた。
- ・ふれあいカフェの運営をするとともに、カフェ運営者への助言・指導を行った。
- ・ふれあいカフェ参加者に対して、相談支援を行った。
- ・ふれあいカフェ交流会を企画し、開催した。
- ・認知症サポーター養成講座、認知症予防講座、キャラバンメイト連絡会、認知症見守り協力者学習会、認知症講演会及び地域包括ケアシステム講演会に参画した。
- ・地域ケア会議及び各地区協議体などへ参加した。
- ・ふれあいケアパス（認知症ケアパス）の内容の見直しを行い、改訂版を作成した。また、キャラバンメイト連絡会、認知症サポーター養成講座にて説明し配布した。
- ・シニアいきいきアンケートより抽出された対象者の状況確認を実施し、必要に応じて初期集中支援チームにつなげた。

★シニアいきいきアンケートにより抽出された対象者への状況確認実績（令和5年2月末現在）

シニアいきいきアンケートにより抽出された対象者82名のうち、転出及び介護申請済み等状況確認の必要なしと判断した者5名を除く77名を対象に状況確認を実施。

確認方法	実施人数
訪問（不在）	51人(8人)
電話	15人
来所	4人
合計	70人

(3) ふれあいカフェ（認知症カフェ）

認知症の方とその家族、地域住民の方などが集い、情報交換、レクリエーションなどをして楽しい時間を過ごす通いの場。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした回もある）

●運営主体：直営包括

ふれあいカフェ美和

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月15日	1人	4人	3人	グループホーム利用者 ボランティア 地域の方 直営包括職員	グループホーム 第二あま恵寿荘
5月20日	1人	5人	5人		
6月17日	1人	4人	3人		
7月15日	1人	5人	3人		
8月19日（中止）	-人	-人	-人		
9月16日（中止）	-人	-人	-人		
10月21日	1人	4人	4人		
11月18日	1人	4人	3人		
12月16日	2人	4人	6人		
1月20日	2人	4人	6人		
2月17日	2人	5人	6人		
3月17日	人	人	人		
合計	12人	39人	39人		

※ 平成27年3月から毎月第3金曜日に実施

ふれあいカフェ 甚目寺

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月12日	3 人	3 人	9 人		甚目寺総合福祉会館
5月10日	3 人	4 人	8 人		
6月14日	2 人	4 人	10 人		
7月12日	3 人	4 人	7 人	ボランティア	
8月9日(中止)	- 人	- 人	- 人	地域の方	
9月13日(中止)	- 人	- 人	- 人	直営包括職員	
10月11日	2 人	4 人	6 人	社協包括職員	
11月8日	2 人	2 人	8 人	保険医療課職員	
12月13日	0 人	3 人	7 人		
1月10日	2 人	4 人	7 人		
2月14日	2 人	4 人	5 人		
3月14日					
合計	19 人	32 人	67 人		

※ 平成28年2月から毎月第2火曜日に実施

●運営主体：地域

直営包括が実施主体である2か所に加え、地域のコミュニティやボランティアを中心とした団体が実施している。カフェの終了後にはスタッフがカンファレンスを実施しており、運営開始初期から直営包括職員もカンファレンスに参加し、助言している。

ふれあいカフェ あまちゃん中萱津

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月28日	1 人	5 人	11 人		コミュニティプラザ 萱津
5月26日	1 人	4 人	13 人		
6月23日	1 人	3 人	14 人		
7月28日	2 人	3 人	12 人		
8月25日(中止)	- 人	- 人	- 人	ボランティア	
9月22日(中止)	- 人	- 人	- 人	地域の方	
10月27日	2 人	3 人	10 人	直営包括職員	
11月24日	1 人	3 人	8 人		
12月22日	1 人	3 人	7 人		
1月26日	2 人	2 人	12 人		
2月24日	2 人	3 人	13 人		
3月24日					
合計	13 人	29 人	100 人		

※ 平成28年7月から毎月第4木曜日に実施

伊福ふれあいカフェ

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月28日	4 人	1 人	36 人	ボランティア 地域の方 介護保険事業所職員 配食事業者 直営包括職員	伊福地区集会所
5月26日	1 人	2 人	31 人		
6月30日	2 人	2 人	29 人		
7月28日(中止)	- 人	- 人	- 人		
8月25日(中止)	- 人	- 人	- 人		
9月29日(中止)	- 人	- 人	- 人		
10月27日	1 人	1 人	31 人		
11月24日	2 人	1 人	34 人		
12月22日	2 人	1 人	29 人		
1月26日	2 人	1 人	35 人		
2月23日	1 人	1 人	22 人		
3月30日	人	人	人		
合計	15 人	10 人	247 人		

※ 平成28年9月から毎月最終木曜日に実施

ふれあいカフェあまちゃん下萱津

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月25日	1 人	3 人	13 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	下萱津 コミュニティ 防災センター
5月23日	1 人	3 人	13 人		
6月27日	1 人	4 人	14 人		
7月25日	1 人	4 人	9 人		
8月22日(中止)	- 人	- 人	- 人		
9月26日(中止)	- 人	- 人	- 人		
10月24日	1 人	5 人	12 人		
11月28日	1 人	3 人	10 人		
12月26日	1 人	3 人	12 人		
1月23日	1 人	3 人	12 人		
2月27日	1 人	2 人	8 人		
3月27日	人	人	人		
合計	9 人	30 人	103 人		

※ 平成29年4月から毎月第4月曜日に実施

ふれあいカフェあまちゃん甚目寺公民館

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月12日	1 人	0 人	17 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	甚目寺公民館
5月10日	0 人	2 人	10 人		
6月14日	0 人	0 人	12 人		
7月12日	0 人	0 人	12 人		
8月9日	0 人	0 人	10 人		
9月13日(中止)	- 人	- 人	- 人		
10月11日	0 人	0 人	15 人		
11月8日	0 人	0 人	12 人		
12月13日	0 人	0 人	10 人		
1月10日	0 人	0 人	11 人		
2月14日	0 人	0 人	15 人		
3月14日	人	人	人		
合計	1 人	2 人	124 人		

※ 平成31年4月から毎月第2火曜日に実施

ふれあいカフェJAなの花の会甚目寺

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月1日	2 人	3 人	23 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	JA海部東 甚目寺支店
5月6日	2 人	3 人	15 人		
6月3日	2 人	3 人	12 人		
7月1日	1 人	3 人	10 人		
8月5日	1 人	3 人	10 人		
9月2日(中止)	- 人	- 人	- 人		
10月7日	1 人	4 人	8 人		
11月4日	1 人	1 人	12 人		
12月2日	1 人	1 人	8 人		
1月13日	0 人	0 人	9 人		
2月3日	1 人	3 人	8 人		
3月3日	人	人	人		
合計	12 人	24 人	115 人		

※ 平成31年4月から毎月第1金曜日に実施

ふれあいカフェ J A なの花の会美和

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月11日	0 人	0 人	27 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	JA海部東 美和支店
6月13日	0 人	0 人	27 人		
8月8日	0 人	0 人	21 人		
10月17日	0 人	0 人	24 人		
12月12日	0 人	0 人	25 人		
2月13日	0 人	0 人	24 人		
合計	0 人	0 人	148 人		

※ 平成31年4月から偶数月の第2月曜日に実施

新居屋ふれあいカフェ

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月18日	0 人	0 人	19 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	新居屋憩の家
5月16日	0 人	0 人	12 人		
6月20日	0 人	0 人	14 人		
7月11日	0 人	0 人	14 人		
8月15日(中止)	- 人	- 人	- 人		
9月19日(中止)	- 人	- 人	- 人		
10月17日	0 人	0 人	16 人		
11月21日	0 人	0 人	16 人		
12月19日	0 人	0 人	13 人		
1月16日	1 人	0 人	14 人		
2月20日	0 人	0 人	14 人		
3月20日	人	人	人		
合計	1 人	0 人	132 人		

※ 令和元年10月から毎月第3月曜日に実施

ご近所カフェポップ

令和5年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月16日	4 人	2 人	8 人	グループホーム利用者 ボランティア 地域の方 直営包括職員	グループホームポプラ
5月14日	5 人	0 人	9 人		
6月11日	4 人	2 人	15 人		
7月9日	3 人	1 人	12 人		
8月13日(中止)	- 人	- 人	- 人		
9月10日(中止)	- 人	- 人	- 人		
10月8日	3 人	2 人	16 人		
11月12日	0 人	0 人	9 人		
12月10日	5 人	0 人	12 人		
1月14日	5 人	1 人	7 人		
2月11日	9 人	3 人	15 人		
3月11日	人	人	- 人		
合計	38 人	11 人	103 人		

※ 令和2年1月から毎月第2土曜日に実施

(4) ふれあいカフェ交流会

ふれあいカフェを運営している各カフェのスタッフが集まり、グループワークや日頃カフェで行っていることをそれぞれ発表し、情報交換や交流を行った。

日程	内容	参加者・通知者
7月14日	運営スタッフの懇談と意見交換	各カフェのスタッフ20名参加
3月2日	運営スタッフによる発表と懇談	各カフェのスタッフ30名参加

(5) 認知症講演会

日程	内容	場所	参加人数
12月3日	講演会 「認知症になっても前を向く ～認知症の方の社会参加について考える ～」 講師：認知症対応型通所介護「とんと」OHANA 管理者 伊藤 篤史 氏	美和文化会館 多目的ホールABC	165 人

認知症になってもその人らしく生活すること、社会とのつながりをテーマとし、認知症の正しい知識と理解の普及啓発を目的として実施した。

10 任意事業

(1) 高齢者地域見守り協力に関する協定

地域における高齢者の異変を発見した場合に、市へ通報することで安心して生活できる見守り体制の構築を目的に、あま市内を業務範囲とする以下の事業者と協定を締結し、ネットワークづくりを推進している。協定を締結した事業者には、その証しとして見守りステッカーを配付している。

さらに、協定締結事業者には、認知症サポーター養成講座への参加を促している。

協定締結事業者一覧（※は閉店等により締結終了）

●新聞販売店（14事業所 H25.10.17～R3.8.30締結）

朝日新聞 ASA 甚目寺
有限会社 リブ ※
有限会社 加藤新聞店 ※
有限会社 赤羽新聞店
株式会社 タケダ
中日新聞 甚目寺西部専売所
中日新聞美和正則専売店 日比野新聞店
株式会社七宝ニュース・アド
有限会社前田新聞舗→株式会社中日販売研修センター木田専売店 →中日新聞木田専売店あんど新聞店
中日新聞青塚専売所 山田新聞店
読売センター美和・七宝
読売センター清須

・現在は10事業所と締結

●ライフライン（52事業所 H26.8.20締結）

名古屋市上下水道局 中村営業所
中部電力株式会社 中村営業所
中部電力株式会社 津島営業所
東邦ガス株式会社 美和サービスセンター
一般社団法人愛知県LPガス協会 西部支部海部北分会 48事業所

●金融機関等（18事業所 H26.2.25締結）

株式会社大垣共立銀行 甚目寺支店
株式会社大垣共立銀行 七宝支店
株式会社十六銀行 美和支店
株式会社名古屋銀行 甚目寺支店
岐阜信用金庫 美和支店
愛知信用金庫 七宝支店
いちい信用金庫 甚目寺支店
いちい信用金庫 美和支店 ※
いちい信用金庫 七宝支店
中日信用金庫 甚目寺支店
海部東農業協同組合 甚目寺支店
海部東農業協同組合 七宝支店
海部東農業協同組合 伊福支店
海部東農業協同組合 美和支店
日本郵便株式会社 甚目寺郵便局
日本郵便株式会社 蟹江郵便局
日本郵便株式会社 美和郵便局
日本郵便株式会社 津島郵便局

・現在は17事業所と締結

●配食・宅配事業者（11事業所 H27. 8. 24～R2. 12. 7締結）

さくら配食サービス 中川・港事業所
株式会社シヨクブン あま営業所
そうざいや かとう
宅配クック123 尾張西店
有限会社ゼルチ ハニーズキッチン
有限会社 双葉
合同会社 SHAO-RON ※
ワタミフードシステムズ株式会社 愛知あま稲沢営業所
一宮生活協同組合 稲沢センター
生活協同組合コープあいち 海部センター
配食のふれ愛 あま店

・現在は10事業所と締結

●薬局・ドラッグストア（22事業所 H29. 9. 29～R3. 2. 25締結）

クリエイトエス・ディー 愛知甚目寺店
ゲンキー株式会社 新居屋西店
ゲンキー株式会社 あま七宝店
株式会社 サンドラッグ 甚目寺森店
株式会社 サンドラッグ 美和店
株式会社 サンドラッグ 七宝店
スギドラッグ 甚目寺森店 ※
スギドラッグ 美和店
スギ薬局 七宝店
株式会社 ツジ薬局 本郷店
日の丸薬局 ※
マツモトキヨシ 甚目寺店
株式会社 ミワドラッグ
明治堂薬品 ヨシツヤ甚目寺店
B & Dドラッグストア 七宝店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺店 ※
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺西店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺南店
株式会社 中部薬品 V・drug 七宝店
株式会社 クスリのアオキ 甚目寺森店
株式会社 クスリのアオキ 小路店
株式会社 ユカファーマシー-ドラッグ ユカ あま甚目寺店

・現在は19事業所と締結

●生鮮食料品店（16事業所 H28. 8. 23～R3. 3. 16締結）

株式会社アオキスーパー 甚目寺店
株式会社魚太 スーパーうおた
株式会社コノミヤ 甚目寺店
田中精肉店
株式会社トミダ ナフコ 木田店
株式会社トミダ ナフコ 七宝店
馬場商店
林青果 合資会社
バラエティーミートスズキ
株式会社ヒバリヤ 美和店 ※
株式会社フィールコーポレーションEQVo!カニエ店 ※
ベルズ七宝 ※
マルイチ商店
ユニー株式会社ピアゴ 甚目寺店
株式会社ワイストア Yストア甚目寺店
株式会社ワイストア Yストア篠田店

・現在は13事業所と締結

●その他の業種

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 (H30. 2. 27締結)
総合警備保障株式会社 尾張支社 (R2. 12. 1締結)
株式会社出雲殿互助会 (R3. 5. 24締結)
明治安田生命保険相互会社 (R3. 6. 24締結)
株式会社義津屋 (R4. 4. 26締結)

* 通報件数

令和5年2月末現在

業 種	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新聞販売店	5 件	7 件	16 件
金融機関等	0 件	0 件	1 件
ライフライン	0 件	0 件	0 件
配食・宅配事業者	1 件	0 件	1 件
生鮮食料品店	0 件	0 件	0 件
薬局・ドラッグストア	0 件	0 件	0 件
その他の業種	0 件	0 件	0 件
合計	6 件	7 件	18 件

(2) キャラバンメイト連絡会

キャラバンメイトに認知症の理解を深めてもらうため、登録者同士の交流及び情報交換を行うことで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。

回数	日程	内容	場所	参加人数
第1回	5月9日	1.キャラバンメイトさんの近況報告 2.昨年度の認知症サポーター養成講座の実績報告 3.今年度の認知症サポーター養成講座の計画 4.今後どのような活動をしたいか	甚目寺庁舎第2会議室	キャラバンメイト8名・職員6名 (合計14名)
第2回	10月7日	1.上半期認知症サポーター養成講座の実績報告 2.下半期認知症サポーター養成講座の予定3.お知らせ(講演会)	甚目寺庁舎大会議室	キャラバンメイト6名・職員5名 (合計11名)

(3) 認知症見守り協力者学習会

認知症サポーター養成講座を受講された方で、地域の見守りに関する活動等にご登録いただいた方(以下「見守り協力者」という。)を対象にステップアップ講座としての学習会や講演会を行った。

見守り協力者には地域の中で認知症が疑われる方への声掛けや、見守りに関するボランティア活動、また、ふれあいカフェやサロンなどの集いの場へ参加していただくこと等が期待される。

回数	日程	内容	場所	参加・申込人数
第1回	6月26日	認知症見守り協力者学習会 演題:「認知症サポーターとして考えること・できること」 講師:医療法人幸会 老人保健施設みず里 元サービス統括部長 齊藤 妙子 氏	甚目寺公民館	31人
第2回	12月3日	認知症講演会 「認知症になっても前を向く ～認知症の方の社会参加について考える～」 講師:認知症対応型通所介護「とんと」OHANA 管理者 伊藤 篤史 氏	美和文化会館 多目的ホール ABC	48人
第3回	2月27日	県主催:認知症サポーターステップアップ研修会 案内 ※県へ個人で直接申込	愛知県三の丸 庁舎	

* 登録者数 94人 (R5年2月末現在)

(4) 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターを地域で養成することで、認知症の正しい知識を持ち、本人や家族を地域で支え合う輪を広げていく。平成26年度から毎年市内全中学校1年生に対し行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は中止した。令和3年度は2年生を対象に実施し、今年度は1、2年生を対象に実施した。

* 認知症サポーター養成人数

令和5年2月末現在

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	1,477 人	1,768 人	1,473 人	1,349 人	214 人	1,037 人	1,736 人
累積人数	6,500 人	8,268 人	9,741 人	11,090 人	11,304 人	12,341 人	14,077 人

令和5年2月末現在

日 程	対 象 者	場 所	参加人数
5月13日	あま市新規採用職員	あま市役所本庁舎	29 人
5月19日	郵便局	甚目寺郵便局	16 人
5月24日	美和中学校(2年生)	被服室	243 人
5月25日	美和中学校(2年生)	被服室	
5月26日	美和中学校(2年生)	被服室	
5月26日	郵便局	甚目寺郵便局	11 人
5月31日	尾張寺庭婦人会	泉龍寺	16 人
6月16日	甚目寺中学校(1年生)	武道場	256 人
7月7日	甚目寺中学校(2年生)	武道場	252 人
7月12日	美和中学校(1年生)	被服室	244 人
7月13日	美和中学校(1年生)	被服室	
7月14日	美和中学校(1年生)	被服室	
7月14日	七宝中学校(1年生)	体育館	134 人
7月20日	郵便局	篠田郵便局	9 人
7月21日	郵便局	甚目寺郵便局	6 人
8月6日	一般編	甚目寺公民館講義室	20 人
9月17日	伊福自治会	伊福集会所	11 人
10月27日	七宝北中学校(1年生)	多目的室	46 人
11月17日	甚目寺南中学校(1・2年生)	体育館	304 人
12月1日	七宝北中学校(2年生)	多目的室	51 人
12月8日	甚目寺南中学校(2年D組)	教室	35 人
1月21日	一般編	七宝焼アートヴィレッジ交流ホール	22 人
2月16日	七宝地区民生委員	七宝焼アートヴィレッジ交流ホール	31 人
3月7日	美和地区民生委員	すみれの里集会所	人
3月8日	甚目寺地区民生委員	甚目寺総合福祉会館つどいの部屋	人
合 計			1,736 人

(5) 認知症予防講座

認知症予防の正しい知識と自宅で継続可能な運動や脳トレーニング等を紹介している。

令和5年2月末現在

日 程	対 象 者	場 所	参加人数
4月27日	いきいきサロン沖之島	沖之島公民館	24 人
5月11日	美和地区老人クラブ総会	すみれの里	35 人
5月14日	ニツ寺サロンなごみ	正則コミュニティーセンター	21 人
5月25日	いきいきサロン沖之島	沖之島公民館	24 人
6月10日	花長寿会	花長公民館	24 人
6月12日	金岩サロン	長福寺	14 人
6月22日	上萱津サロン	上萱津コミュニティー防災センター	28 人
6月28日	ジョイジョイサロン	名古屋西福音自由協会	16 人
6月30日	宝寿会老人クラブ友愛活動部会研修会	七宝焼アートヴィレッジ	21 人
7月6日	宝寿会女性部会	七宝老人福祉センター	11 人
7月27日	上萱津サロン	上萱津コミュニティー防災センター	23 人
10月6日	木田サロン	木田公民館	27 人
11月29日	木田地区老人クラブ	木田公民館	22 人
12月7日	徳寿会おしゃべり会	徳実公民館	24 人
12月18日	古道寿会	古道集会場	20 人
2月28日	ジョイジョイサロン	名古屋西福音自由協会	15 人
合 計			349 人

(6) 介護者のつどい

介護にたずさわっている家族等が介護者同士の交流や情報交換を通じて、精神的な負担の軽減や孤立を防ぐことを目的とする。

令和5年2月末現在

日 程	場 所	参加人数		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
毎月第4月曜日	甚目寺庁舎	18人	34人	55人
奇数月第1月曜日	七宝老人福祉センター	9人	10人	14人
偶数月第1月曜日	美和総合福祉センター すみれの里	12人	35人	31人
合 計		39人	79人	100人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8/22・9/26の甚目寺庁舎、9/5七宝老人福祉センターは中止。

1 1 介護予防事業

(1) 介護予防把握事業

- ・介護認定を受けていない70歳以上の高齢者を対象にアンケートを実施し、要支援・要介護状態になるおそれがある高齢者の早期発見・早期対応を行う。

令和5年2月末現在

年度	シニアいきいきアンケート		
	発送	返送	回収率
令和2年度	14,567 人	12,890 人	87.2%
令和3年度	14,809 人	13,050 人	88.1%
令和4年度	14,947 人	12,794 人	85.6%

- ・シニアいきいきアンケートの該当項目の抽出により82人が該当。8(1)認知症初期集中支援推進事業において電話や訪問を実施し、67人に相談支援等を行った。
- ・シニアいきいきアンケート未返信者のうち医療・健診未受診者には、12高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、保険医療課職員と直営包括職員が訪問を実施。身体機能、認知機能の低下が疑われた方には介護予防教室等を案内した。

(2) 一般介護予防事業

令和5年2月末現在

事業名	実施回数	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
健康相談※	年38回	保健師による血圧測定・個別相談	62人 (13回)	46人 (25回)	188人 (35回)
はつらつクラブ※	6か所 年12回	軽体操・ストレッチ・レクリエーション・合唱・音読・健康チェックなど口腔機能・低栄養予防についての講話	126人 (24回)	260人 (39回)	607人 (60回)
ワクワクからだ教室※	3か所 年12回	転倒・骨折予防のための体操、健康チェック	104人 (12回) 筋力アップクラブ	154人 (26回)	234人 (30回)
低栄養予防リーフレット配布	随時	低栄養予防の必要性について周知・啓発	低栄養予防教室コロナにて中止	サンプル提供説明 5人 (2回)	322人 (8回)
口腔ケアリーフレット配布	高齢者世帯実態調査把握訪問時	口腔ケア・運動習慣等の必要性についての周知・啓発	10,423人	10,968人	10,451人
出前講座	随時	サロン等で保健師・歯科衛生士・管理栄養師による運動・口腔・栄養に関する講話や体操など	20人 (1回)	107人 (5回)	101人 (5回)

※()内は実施回数(コロナにより中止回があった)

(3) その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要不急の外出を制限される中、生活不活発によるフレイルリスクが高まっている。そのため、室内でもできる自作の体操リーフレット(はじめてみよう!!だれでもできる簡単体操室内編2)をふれあいカフェ、サロン及び認知症予防講座等で配付した。

1 2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するよう国の方針が示され、あま市においても取り組んでいる。

(1) 健康状態不明者対策（ハイリスクアプローチ）

健康状態が不明な方（過去2年後期健診未受診かつ医療未受診）を対象に保険医療課職員及び直営包括職員にて個別訪問を実施し、健康状態の確認や必要に応じた健診・医療・介護サービスの受診勧奨等を行った。

実施時期	対象者	訪問前に状況確認できた者	訪問実施人数			
			面談実施	不在	居所不明等	
11月～12月	229人	167人	35人	16人	12人	7人

包括対応	不在票及び資料提供
2人	10人

訪問時の状況		
受診勧奨	健康相談	継続支援
16人	16人	0人

(2) 笑って元気スクール（ポピュレーションアプローチ）

通いの場等において、本市の健康課題である口腔・栄養・認知症・転倒骨折予防に関するフレイル予防教室を実施し、教室終了後も住民が自主的にフレイル予防を継続できるよう取り組んだ。教室の実施に当たっては保険医療課職員・健康推進課職員・直営包括職員・あま市民病院職員（理学療法士、作業療法士）が共同で実施した。

●実施個所(8か所): 花長寿会・木田老人クラブ・古道老人クラブ・美和地区寿会総代会・甚目寺老人クラブ
総会・下之森元気クラブ・沖之島サロン・上萱津いきいきサロン

●実施時期: 4月～12月

●実施回数: 延べ14回(対象場所の都合に合わせて1～3回の実施で調整)

●実施人数: 延べ345人

1 3 認知症災害時支援モデル事業

第8期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において「防災・防犯対策の推進と高齢者の安全確保」を掲げており、災害発生時に迅速に避難・救助ができる体制を整備する必要があった。愛知県より認知症災害時支援モデル事業の委託公募があり、応募した結果モデル事業を受託することとなったため、モデル事業を実施する中で、体制整備を進めていくこととした。

(1) モデル事業実績

実績報告については、別紙資料3参照。

◎総合評価

●ワクチン接種及び新しい生活様式の普及により、少しずつ地域活動も動き出したことを踏まえ、今年度は感染対策をしながら事業継続をしていくことに重点をおいた。そのため、認知症サポーター養成講座、認知症予防講座、認知症見守り協力者学習会及び講演会といった市民への地域包括ケアシステム及び認知症の理解を促進する機会は、実施回数を昨年度と同等または増加させた。また、介護者のつどい、ふれあいカフェ、キャラバンメイト連絡会及びふれあいカフェ交流会といった集いの場も昨年度より実施回数を増やすことができた。

認知症地域支援推進員の訪問支援及び保険医療課・健康推進課と連携して実施している介護予防に関する訪問支援は、地域の実態把握をするうえで重要な指標となるため、今後も継続していくことが必要である。

地域及び関係機関とのネットワークづくりにおいては、地域ケア会議の参加人数を昨年度より拡充させるとともに、海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター及び権利擁護センターといった専門機関にも積極的に参加してもらうことで医療と介護の連携強化だけでなく、成年後見制度を必要とする複雑な困難ケースへの対応をチーム支援できるような体制構築も推進することができた。

新型コロナウイルスの感染拡大で低迷した地域包括ケアシステムの深化・推進及び認知症施策の推進の立て直しとなる1年であったが、来年度は第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の最終年度であるため、計画の基本理念である「誰もが健やかに安心していきいきと暮らせるまちづくり」の実現に向け委託型地域包括支援センターと連携しながら、地域住民、企業及び各種関係機関と協働で邁進していく。

●健康推進課の予防事業は、高齢者健康増進事業として高齢者全般に向けた事業を修正・展開してきたところである。

高齢者の健康づくり、健康寿命の延伸を目的とし、運動・口腔・栄養の視点を軸とし、参加者一人ひとりが自分の身体・健康を知ることができる場となっている。さらには、高齢者の閉じこもり予防の一助となっている。

ワクワクからだ教室では、講師手作りの模型や解説図を利用しながら分かりやすく体の動きを説明している。

低栄養予防は、出前講座や一体的事業のフレイル予防教室、男性料理教室などでリーフレットを配布し啓発を行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業中止は、8月のみとなり、はつらつクラブは昨年比で2.3倍、ワクワクからだ教室は1.2倍と増加傾向。出前講座は2月末現在で、昨年と同数の5件(3月1件依頼実施)へ訪問し、フレイル予防やロコモティブシンドローム予防の啓発とともに、各健康増進事業の教室案内チラシを配布や健康づくり取り組みへの参加を呼びかけた。また、民生委員・児童委員の協力により高齢者世帯の実態調査訪問時に、オーラルフレイル予防の口腔ケアリーフレットを配布し、閉じこもりがちな高齢者にも啓発を行い、高齢者の健康増進に取り組むとともに、相談等があれば、保健センターを紹介していただくように依頼をしている。